

# 広聴特別委員会

日 時 令和6年12月17日(火)

午前9時

場 所 第1委員会室

## 付議事項

- 1 広報特別委員会が実施した議会モニターへのアンケート結果の送付について
- 2 9月定例会の市議会・モニター意見交換会報告書について
- 3 9月定例会の議会カフェ報告書及びアンケートの集約結果について
- 4 これまでの議会モニター意見交換会のまとめ（令和4年7月～現在）
- 5 12月定例会の議会モニター意見交換会について  
開催方法、日程
- 6 12月定例会の議会カフェについて  
開催方法、日程
- 7 その他

## 広報特別委員会が議会モニターに対して行ったアンケート調査結果

【令和4年9月29日実施】

### 1. 市議会だよりについての感想や、改善点（掲載してほしい内容等）についてご意見をお聞かせください。

- ・重要な項目等は現行の字体、大小、黒の白抜きを継続すべきです。インパクトがあって読みやすい。
- ・上記同様に印象すべき事項は波\_\_\_\_\_の罫線を加えては？
- ・市長自体の回答が無い。
- ・「The 市議会」は、おおむね3か月に1回の発行のようである。薄い本であるから背表紙は無い。こういう薄物の本は表紙を工夫しないとどの号（Vol. ▲●）にその記事が掲載されていたのか判断しにくい。例えば、添付見本のように大きな項目を表紙に列記して、なにが掲載されているのかを明確にする。項数は末の13項くらいの下半分に列記する。アニメは無しか、小さくしてよい。
- ・市議会ってどんなところ？ 分かりやすく説明

(例) 市議会とは？

わたしたちの「山陽小野田市」を住みよいまちにするためには、みんなでどうしたらよいか考えていかなければなりません。でも、みんなが集まって話し合うのは大変です。そこで、わたしたちはみんなの代表を選んで（選挙）、代わりに話し合いをしてもらいます。その代表が「市議会議員」で、議員の集まりが「市議会」です。市長もみんなで選んだ代表です。

市議会では市長が計画した仕事やお金の使い方（予算）、市の決まり（条例）などについて、それでよいのかどうか、話し合っ決めてます。市長は、市議会で決まったことをもとに市の仕事を進めます。市議会と市長はお互いに意見を出し合い、協力して市民の幸せのためにいろいろな仕事をしています。

- ・市議会議員ってどんな人？ 分かりやすく説明 個人的な人物の説明ではない。
- ・傍聴 分かりやすく説明

(例) 傍聴

本会議や委員会の様子を知りたい人は誰でも見学することができます。これを「傍聴」と言います。

- ・請願 分かりやすく説明

(例) 請願

市の仕事は市民一人一人の暮らしにつながっています。市民は「こうしてほしい」という希望や意見を文書にして、議員を通して市議会に出すことができます。このことを「請願」と言います。議員を通さず市議会に希望や意見を文書にして出すことは「陳情」と言います。

- ・白黒なので赤系の色を入れたら見やすくなると思います。
- ・議員の写真は話している写真を使ってみてはどうですか。
- ・議会であったことだけをレイアウトとして書くだけじゃなく、市民が年代を問わず、

ちょっと思うことを言えることがあるといいと思う。伝えるときは相手のことを知らないと一方的だと伝わらない。

- ・ふざけた紙面は反感を招くと思いますが、遊び心のある紙面だといいかな。
- ・陳情、請願の類についての内容と結果
- ・議会にとって良いことだけでなく、良くないこと（政倫審等）、うまくいかなかったこと（山田の反省）等について学びとしてオープンにすることで関心を持ってもらうこと。
- ・文字を大きく様々な障害を持った方々に配慮したユニバーサルデザインを考慮した市報にしていきたいです。
- ・まず、目につくのが漫画チックな表紙です。子供たちが手に取りたいようなものですが、各世代においてはどうでしょう。各世代の方に意見を聞きたいものです。内容は大変重厚なものが多く、子供たちが読むことはないと思います。偉い年寄りではなく普通の各世代の市民にインタビューをし、各世代が読みたくなるような記事を載せたらどうでしょうか。①
- ・文字の大きさや太さを変えており、全体的に読みやすいと思います。
- ・若者向けに議会のHOW TO部分があってもいいと思います。写真等の量を増やし視覚的に分かりやすくしてもいいと思います
- ・議員ごとの年間質問数（議会）等が記載されても良いのではないのでしょうか。

## 2. 市議会のホームページやフェイスブックの感想や、改善点（掲載してほしい内容等）についてご意見をお聞かせください。

- ・カラーの写真等を導入しては
- ・今、「山陽小野田市議会」のホームページを開いているが、「フェイスブック」とは最下段の「シェアする」、「ツイートする」、「LINE で送る」の総称を示していると思われる。これは、「The 市議会」と比較すると、いつでも、どこでも、誰でも（識字能力・視覚障害等のある方には制限がある）という訳にはいかない。また、前記3項にはメールアドレス、パスワード等を入力しないと見ることすらできない。情報伝達、事務連絡等でこの手段が使われると中継する者は大迷惑。
- ・市議会ってどんなところ？ 分かりやすく説明
- ・市議会議員ってどんな人？ 分かりやすく説明 個人的な人物の説明ではない。
- ・傍聴 分かりやすく説明
- ・請願 分かりやすく説明
- ・ホームページ 議員紹介で議員の年齢や紹介が少ない。いろんな情報があれば興味を持ってもらえるのではないか。
- ・フェイスブック 若い人がどれくらい見ているのか分からないが、他の SNS の活用も検討してみたいか。
- ・見ていませんので・・・
- ・HPの新着情報が有効に活用されていないように感じます。

- ・議会のカレンダーに掲載されている事項（本会議・一般質問・委員会・市民懇談会等）の日程決定や開催当日の案内、非公開であっても研修会の開催等を事細かくこまめに掲載することでちょくちょく開いて見ることにつながるのではないかと思います。
- ・委員会や、定例会や本会議の動画配信を山陽小野田市の公式の YouTube チャンネルでされていますが、本会議を視聴していて、一体、議員の中でどなたが発言を述べているのだろうと感じるときがありました。ですから 9 月定例会の時と同様に委員会でも、指名をされ、一番最初にその議員が発言したときに、その議員の名前と発言内容も字幕を入れていただきたいです。
- ・議事録検索システムについてですが、もっと文字を大きく濃く見やすいようにしていただきたいです。それから議事録の検索をするときのチェック項目を簡素化することはできないのでしょうか。
- ・それから配信時の音声をクリアーに聞き取りやすくしていただきたいです。
- ・ホームページも、様々な障害を持った方々に配慮したユニバーサルデザインを考慮していただきたいです。
- ・フェイスブックやホームページを見るお年寄りには 10 人に 1 人もいないのでしょうか？パソコン勉強会を開催してもわずかな方しか参加されないと思います。お年寄りには議会だよりは難しすぎると思います。地域の議員さんが地域のお年寄りからお話を聞いて載せたらどうでしょうか？〇〇地区ふれあいインタビューなど。他の世代はこれでもいいと思います。各世代が興味を持つ内容にしていいただきたいと思います。②
- ・ホームページやフェイスブックを活用されていますが、どのくらいの方が見ているのでしょうか？
- ・フェイスブックのページの認知度を高める試みが必要かと思います。
- ・ホームページはデザインが市のサイトとほとんど同じなので、雰囲気を変えてもいいかと思います。
- ・いいね のカウントを見るとほぼ同じ人がフォローしている。閲覧数を考えると継続か停止することも踏まえて協議する必要あり。
- ・誰に向けて情報発信しているのか明確にした方が良い。（ターゲットを絞るか）若者向けでは無い。

### 3. どのような広報活動が必要であり、有効策と思うかご意見をお聞かせください。

- ・町へ出向いて市民にインタビューして、市議会等への助言、感想等の意見を聞く欄を新設しては。
- ・より多くの市民が市議会の活動に興味を持ち、自分のこととして捉えてもらうためには広報活動は必須だ。現在、私が知っているものは「The 市議会」だけである。9 月 29 日の市議会モニター意見交換会の出席者からの意見で、「議会を閉じた後は、3 か月後でないとならば次の議会は開かれず、市民への周知伝達も遅れる。」があっ

た。これでは遅い。市民に配布される小冊子は、「広報さんようおのだ」が一番大量で期間も半月に1回である。この小冊子は「市議会コーナー」を設け、課題を伝えてはいかがか。

- ・市議会ってどんなところ？ 分かりやすく説明
- ・市議会議員ってどんな人？ 分かりやすく説明 個人的な人物の説明ではない。
- ・傍聴 分かりやすく説明
- ・請願 分かりやすく説明
- ・課題を絞って、その経過を発信してみるのはいかがでしょうか。
- ・ターゲットを絞って（高齢者・子育て世代等）知りたい、必要と思える情報を発信してはどうか。
- ・中学生、高校生にも積極的に関わる機会をつくって興味を持ってもらう取組も必要と思う。
- ・的をしぼるとか、まだまだ工夫がいきます。できないじゃなく、大学、高校、中学生の意見を聞いてしたら、もっといいアイデアが浮かぶのでは。広報する原点をもう少しきちんと考えるべきと思う。
- ・質問の具体策はもちろん大切ですが、「山陽小野田市議会」の売りはなんでしょうか。その「売り」を明確にしてそれを生かすための諸策を考え実行していくという、一つ一つの積み上げが必要ではないかと感じています。
- ・山陽小野田市のテーマである『smileCity 山陽小野田市』という言葉とロゴをより多くの方々に知っていただきたいです。そのために、山陽小野田市議会の定例会や委員会や本会議が始まる前に『smileCity 山陽小野田市』という言葉とロゴを視聴している方々が、思わず注目して観るように、例えば、音と動きをつけて表示してみるとというのは、どうでしょうか。そして、その表示の後に定例会や委員会の映像が始まるというのはどうでしょうか、缶バッジと封筒も引き続き継続していただきたいです。
- ・①②の内容は有効な広報活動にあたると思います。市議会モニターの意見を掲載することで、市議会や委員会等に関する市民の意見が少しでも反映されと思います。内容は素晴らしいと思いますが、白黒ばかりで読みにくい。予算はどこから出るのか分かりませんが、カラーにしていただけたらと思います。もし、市の予算であれば市の広報並みに予算要求をして欲しいと思います。
- ・委員会や報告等も必要ですが、市議会のPR動画や仕事内容を分かりやすくまとめた動画等があってもいいかと思います。
- ・中身に関してはとても大切な情報であり、見れば理解はできるように記されていると感じる。
- ・市民全体に知ってもらいたいのか、年代を絞って発信するのか考えても良いと思う。
- ・若者はフェイスブックでなく、インスタグラム、T i k T o kを活用している。
- ・若年層の投票行為や市政への意識を高めることがこれからの山陽小野田市に必要と考えます。

## 市議会・モニター意見交換会報告書

- 1 開催日時 令和6年10月17日(木) 10:00~12:00
- 2 開催場所 市役所3階 第2委員会室
- 3 参加モニター 7人
- 4 参加議員 森山喜久、前田浩司、宮本政志、藤岡修美、奥良秀、中島好人、白井健一郎

### 5 意見交換会の主な内容

- 【モニター】2021年12月から今年の9月まで3年間、一般質問の回数を調べてみた。12回のうち、一番少ない時で8人、一番多い時で12人が一般質問されている。この委員会の議員で言えば、奥議員4回、白井議員6回、中島議員12回、藤岡議員6回、前田議員4回、宮本議員3回、森山議員3回。議会改革って何のためにあるのか。議会改革は、いわゆる力の弱い議員が執行部に対抗する、そういう議会にしていこうと改革が始まった。議員の一般質問で検討事項は議会としてどう対応するか議会全体で考えていた。一般質問は、議員に与えられた最大の権利である。議員の権利を放棄していないか。だから、議会の活性化が今、本当に停滞しているとしか思えない。
- 【議員】一般質問をする議員の人数が少ないという指摘は議員それぞれの考えがあるので総論的に答えることはできない。ただ、私も1期目はほぼ毎回一般質問をやったが、やりながら一般質問で市政がなかなか変わらない、投げかけても答えが返ってこないという無力感みたいなのは感じることもある。南海トラフの一般質問で、山陽小野田市地域防災計画で南海トラフの被害想定を突かせていただいたせいかどうかは分からないが、県で山口県全域の南海トラフに対する被害想定を見直すことになった。その辺はやったかいいが良かったと感じている。
- 【議員】行政の課題、行政執行機会に対して正していったり、市長の政治姿勢を一般質問で明らかにして政治責任を明確にしていく、政策の変更とか議員の方から一般質問で新規政策を提案して実現に結びつけていくのが一般質問のあり方だと思っている。
- 個人的にはうまく一般質問ができてない。成果も出てない。私は委員会での議案審査を中心に、あるいは一般質問で他の議員がやって大事な箇所所管で扱うところに関しては徹底的に調査研究して、所管で質疑に結びつ

けている。一般質問で政策変更した、政治姿勢を明確にして、政治責任を明確にして追求して変更させたという実績を自分の一般質問で持っていない。結果、回数は減って、委員会の議案審査中心に行っている。言われることは何の反論もできない。

【モニター】議会傍聴された中学生からのアンケート、中学生との意見交換会の中でいっぱい良いことを発言している。中学生との意見交換の内容を取りまとめ、これを議員全員で話をしていないようだが、話し合いをしてほしい。中学生の言ったことは的を得ていると思う。

【議員】せっかく子どもたちを呼んで傍聴してもらって、それに対して意見が出た。中学生議会で一般質問席に立ってやった。それに対して意見が出たのに、議会としては動いていない。これは貴重な意見で、広聴は広く市民から意見を聞いたわけだから、広聴で所管を分けて、やろうと思えばすぐできると思う。

【モニター】一般質問において、この9月議会から議員の持ち時間30分にする話があった。70分あったのを今回、議員の片道質疑質問時間が30分、執行部は無制限である。30分縮めるなんてことは、自分たちの権利を縮めるようなことでやってはいけない。

【議員】一般質問の執行部の答弁時間は時間無制限である。経緯として、まず議長が第19回議会運営委員会の最後に、時間ありきではないが一般質問の時間が70分というのが適当かどうかということも踏まえて、そして通告書も踏まえて、議運でしっかり議論してくれないかという諮問を受けた。その下で、今、試行的に1度だけ30分に議員の持ち時間をした。全議員がやってないので、12月定例会も30分を試行的に行うことになると思う。これに関しては、引き続き議運で議論は行っていく。

## 6 要望・意見など

【モニター】議員が一般質問で色々聞かれるが「自分が知らないから聞く」ように聞こえる。ある程度分かった上での質問なのかどうか疑問である。「それはそうですね。」で終わるのではなく、「それ」に対してどのような策ができるのか、「これはできた、これはできていない。では、どうしてできないのか、どうしてできたのか。」を比較検討、検証することで、議員に考えていただきたい。

【モニター】モニターの職務で、議場へ行くが、意外と本会議場に一般市民の方が自由に入れることを知らないと思う。例えば、議会だよりに、「自由に本会議を傍聴してください」という内容を載せて、市民の方が知ると、市政や市議会を身近に感じられるのではないかと思う。

【モニター】本会議で自分の所管しない内容の質疑を十分されて、委員会に持ち込むの

が筋である。本会議の場は、提案者である市長が出ているので、市長に直接聞ける。

本会議で一人の議員が一つの議題に対して3回まで質疑ができる。それは回数だけであって内容ではない。例えば、1回の質問で10項目やっても良い。何故、回数制限があるのかも含めて、本来の議会活動に戻っていただきたい。最初の本会議で質疑して、その箇所を委員会で審議していなければ、再審議を要求できる。最初の本会議での質疑はとても大事である。議員の質問や質疑がかなり減ってきている。議会改革の中で議員の質問や質疑は重要な位置を占めており、議会の活性化は議員の質問や質疑から起こると思う。

【モニター】福田議員が带状疱疹について質問されて、その後、吉永議員さんが一般質問をしたが、執行部から「国の動向を注視すると」それだけで終わっている。なんで突っ込まないのか。例えば宇部市であれば半額負担、そういうこと分かっているのに話が出ない。財政がないとか、そういう話をしたら優先順位とかいうこともあるかと思う。

市長はほとんど回答されない。もう少し市長を引っ張り出すとか、再質問について皆で考えていかないといけない。

【モニター】市長が答弁立たない話で、自分の持ち時間の中に市長が答弁に立たなかったら、市長が立つまで質問しない。立たせることが目的であれば、いろんな手段を使うべきだと思う。

【モニター】例えば、防災問題で言えば、公聴会が開ける。議会が専門家あるいは市民を呼んで積極的に意見を聞いてほしい。昔、厚狭川水害の時に臨時議会を要求し、40万程度の予算を組んで臨時会開き特別委員会（調査特別委員会）ができた。その調査特別委員会が被災地に入って市民との意見交換を行い、それをまとめて執行部に提案した。改善措置について議会らしい機能を発揮できた。議会が市民の中に入って、市民の声を聞くべきである。

【モニター】議会カフェは、広聴機能の一つの手段。議会報告会が議会カフェに変わり議会のことを報告する。そこで参加された皆さんに意見を聞くように変わっただけのこと。

【モニター】議員になって、市民のために一生懸命に頑張ってきたというふうに思っておられるのか。有権者の皆さんがこの3年間の議員の行動を見て不安に思っているのではないかと思う。

【モニター】今の議会の状態を見て、若い人が政治や議会に関心がないように思える。意欲を持って市政を変えようとか、議会を変えていこうという人が、今のままだったら表れてこないのではないかという気がする。

【モニター】将来にわたって、山陽小野田市をつくっていくための良い議会でありたいという思いが伝わるような議会運営をやっていただきたい。

【モニター】議会基本条例の最大の基本は議会の活性化である。議会として市民の意見

をもっと積極的に反映するべきであり、いろんな立場、いろんな地域から出てる人達が自分達で意見を一致させて最大公約数で執行部に変更を迫ろうというのが議会の役目である。意見が違うから賛成多数で全部決めればいいというのは、それは議会ではない。議会改革は意見の違う議員が議論をし、意見を最大公約数でまとめて執行部に対抗しようというのが議会である。

【モニター】一般質問が権利ではないっていう議員がいたら、地方自治法には何て書いてあるのか、ここから出発すべき。

## 7 今後、検討すべき意見

【モニター】議会傍聴された中学生からのアンケート、中学生との意見交換会の中でいっぱい良いことを発言している。中学生との意見交換の内容を取りまとめ、これを議員全員で話をしていないようだが、話し合いをしてほしい。中学生の言ったことは的を得ていると思う。

# 議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ①

令和6年11月7日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

広聴特別委員会

委員長 森山 喜久

令和6年9月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

## 記

- 1 開催日時 令和6年11月7日（水） 14:00～15:30
- 2 開催場所 不二輸送機ホール 小ホール
- 3 参加人数 53人
- 4 担当議員名 伊場 勇、大井 淳一郎、岡山 明、奥 良秀、笹木 慶之、  
白井 健一郎、恒松 恵子、中岡 英二、中島 好人、中村 博行、  
福田 勝政、藤岡 修美、古豊 和恵、前田 浩司、松尾 数則、  
宮本 政志、森山 喜久、矢田 松夫、山田伸幸、吉永 美子
- 5 報告会次第
  - (1) 高松議長挨拶
  - (2) 9月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 藤岡修美
    - ① 総務文教常任委員会
    - ② 民生福祉常任委員会
    - ③ 産業建設常任委員会
  - (3) 全体的な意見交換会
- 6 各テーブルの意見  
《総務文教常任委員会関係》

**\*令和5年度に実施した地域運営組織(RMO)形成に向けた財政的支援と支援員の配置**

- ・(質問) 支援員を1人いれているが、地域交流センターはセンター長と事務員で仕事は一杯で、RMOをやっていくのにかなり負担が多いと思うが1人で大丈夫なのか。
- ・(回答) 各地区で支援員を1人採用している。支援員は年額440万円上限で、国が全額負担する。今年度は半分の220万円の予算の確保だが、1人で大丈夫か、という意見なので、来年度に向けて440万円一杯まで予算を増額し、人員も増やすべきだという意見があったとして承る。
- ・(質問) 新しい組織を何でやるのかが分からない。みんな、これやって戸惑っている。これやって、だんだん予算が減ってくると思うがどうか。
- ・(回答) 今のご意見は、RMOの審査の時に、議会報告会の中で予算を将来減るんじゃないかという懸念が市民から出ていることを前提に、委員会で審査していく。
- ・(質問) 支援員は、どういう組織から、どんな経緯を通して、山陽小野田市が採用することにしたのか。
- ・(回答) 支援員設置事業というものがあり、主な事業として地域運営組織づくりの検討を支援する、地域づくりをする、ワークショップやアンケートをするのだが、山陽小野田市では本山、須恵、小野田、高千帆、有帆、出合、厚陽、埴生では配置されているがそれ以外のところでは、まだ設置されていない、人選中も何カ所がある。厚狭地区については要らないという結果になっている。  
各地区から選ばれているが、元議員、自治会長など色々な人が支援員でいる。  
地域のことを良く知っておられる人が選ばれたと思う。
- ・(質問) 地域の支援員はどのように選ばれるのか。
- ・(回答) 地域をよく知る方が選ばれる例が多い。
- ・(質問) 身分はどうか。
- ・(回答) 会計年度任用職員となる。
- ・(質問) 市長から予算は子ども一人50円、老人150円と聞いたが、どうか。
- ・(回答) 人口割などの規定に基づき、市から予算配分されている。
- ・(質問) ふるさとづくり協議会の規約では役員手当の項目があったが、この度は却下された。今から4月1日から大きく動いてくるのだろうが、役員手当を規約の中に取り組み方向性で議会の方からもプッシュしてもらいたい。ボランティアにも限界がある。
- ・(回答) 規約の叩き台を行政が示したが、それに沿う必要はなく、地域運営組織の中で決まりを作ってください。1番大事なことは持続可能になることだから、妥当な金額は幾らなのかを地区で決めていただく。それを皆さんで決めていただければ一番良いと思う。
- ・(質問) 各地区にできたきっかけは何か。
- ・(回答) 地域交流センターを中心に、色々な団体、自治協とか地区社協とかふるさとづ

くり協議会が協力し合って一つの地域運営組織をつくり、それを中心に、地域課題の解決に取り組むことが全小学校区で行われている。これは山陽小野田市だけではなく全国の多くで取り組まれている。

#### \*災害応急工事事業を増額補正

- ・(質問) 緊急性ということを前提に災害応急をやってしまうと、緊急性が低いところは後回しになる。被害を受けた市民にとっては目の前のことからやってくれ、という気持ちだが、このような質疑は委員会であったのか。
- ・(回答) 出ていない。今後、災害応急工事事業の増額の議案が出た時は、この意見を審査でしっかりと伝えていきたい。
- ・(意見) 復旧工事で、要望した後でも議員は動いておられるが、最終的に最後まで見てくれる市議を見たことがない。市民のために動いてください。
- ・(要望) 災害復旧は早急に行って欲しい。
- ・(意見) 日本化薬の反対側の道、山からいつも水が流れている箇所がある。カーブの所。何か怖い。

#### \*その他

- ・(質問) 救急車が患者を乗せてから、行先が決まらず停まっている。そのための市民病院だろうと思うが、救急車が行くのはほとんど労災か一番東の端の病院。しかも、さんざん待つ。どうにかならないのか。(総務文教および民生福祉)
- ・(回答) 救急車のある消防は総務文教常任委員会、救急・病院・市民病院に関しては民生福祉常任委員会がそれぞれ担当委員会。救急車がたらい回し、行き先がない現状は大きな問題だと、議会全体で認識したい。
- ・(意見) 花火もよいが1日なのでその時だけでもったいない。継続した何かをRMOで、地域で考えないといけない。有帆や本山では地域運営組織で花火を打ち上げる。(総務文教および産業建設)
- ・(要望) 厚狭複合施設のアリーナにエアコンを付けてもらいたい。

### 《民生福祉常任委員会関係》

#### \*市民病院の決算について

- ・(質問) 市民病院はずっと赤字なのか。
- ・(回答) 単年度決算で、令和4年度は黒字である。
- ・(質問) 将来的にはどうなのか。労災と日赤とか大きい病院があるが、市民病院は大丈夫なのか。
- ・(回答) 令和9年までに赤字を解消する目標があり、それは解消できるのかという質問したところ、病院側はそれは難しいと思いますという回答があった。

- ・(質問) 経費が大きくて赤字になってるのか、あるいは患者さんが少ないから、要は売上げが少ないから赤字になっているのか。
- ・(回答) 入院患者が増えたが、外来患者が減っている。それも大きな要因になってる。
- ・(意見) 市民病院は収支均衡が達成可能かどうか、構造的な問題があるのではないか、等の根本部分をキチンと詰めて欲しい。
- ・(意見) 市民病院は必ず赤字になる。100床あっても常に100%になることは絶対になく、それで設定している。入って80%。市民病院はみんなのためにあるのだから、市民病院は毎年1億円赤字になりますが、皆さんそれでも良いですか、と市民に問わないといけない。5億赤字で3億ぐらい入れる。それを皆が反対って言ったら、市民病院をやめましょうよ。
- ・(回答) 公立病院は赤字が当たり前なのか、あるいは黒字が難しいのかを委員会で議論していない。収支均衡を図るためにどうなのか、という議論もしていない。赤字でどうなのか、その実態がどうかということも、もう少し議会で詳細に審査してくれということなので、貴重な意見として承る。
- ・(質問) 日本一安い病院を作ってもずっと赤字。その要因は、一つは内科医が全然増えていない。病院の先生は昔から20人いないのではないか。
- ・(回答) 25人。
- ・(意見) 僕が不思議だと思うのは、病院が赤字ということは患者が少ないから。病院を黒字にすることは患者を増やすことになる。(社会的には)患者は少ないほどいいですね。  
 例えば極端に言うと、泥棒が少ないと警察官の仕事がない、暇。警察官は暇な方が良いですね(、社会が平和な証しだから)。だから病院は赤字のほうがいいんじゃないか(、皆が健康だという証しだから)。黒字化とか、患者数を増やすとか、何か矛盾を感じる。病院経営はトントンで良いと思う。
- ・(意見) 市民病院はだいたい赤字になる。ただし、今は救急でもたらひ回しになったり、待たされるが、山陽小野田市の市民は100%受入れましょう、全部受け入れるよ、サービスは抜群だとなれば、市の金を使ってもあまり言わない。
- ・(意見) 先生がいなくて救急車を受入れられない。訪問介護にして、ベット数を減らしたのも、目先の5,000万円の補助金をもらいたいがため、結果的に救急車の受け入れが出来ていない。
- ・(意見) 「赤字の件は、国の政策によって変わるから、我々が目一杯働いてもとどうしようもならない」と局長が言ったが、あんな答弁はない。95~96%のベット稼働率がないと赤字なのは当たり前。80%などは、先生や看護師は全然仕事をしていないのではないか。そこを議員が誰も言わない。議員ももっと勉強して突っ込まないといけない。公立病院の役割として赤字路線の現状は分かるが、救急ぐらいいは受け入れて欲しい。

- ・(要望) 救急の際、救急車がどこの病院に行くのかが不安。救急の当番制もあるが、救急、回復ケア、介護、地域連携などの仕組みをしっかりと欲したい。

#### **\*その他**

- ・(質問) 救急車が患者を乗せてから、行先が決まらず停まっている。そのための市民病院だろうと思うが、救急車が行くのはほとんど労災か一番東の端の病院。しかも、さんざん待つ。どうにかならないのか。(総務文教および民生福祉)
- ・(回答) 救急車のある消防は総務文教常任委員会、救急・病院・市民病院に関しては民生福祉常任委員会がそれぞれ担当委員会。救急車がたらい回し、行き先がない現状は大きな問題だと、議会全体で認識したい。
- ・(質問) 視覚障害者の人も外出することによって、みんなが楽しむことぐらい出来るようにしてもらいたい。タクシー券でも少し出すとか、100円バスとかを考えてもらいたい。
- ・(回答) 金額的には1,500万円ぐらい福祉タクシーの助成をしている。宇部市の100円バスとかの話もだが、民生福祉委員会の中でも県外に視察に行つて、市の執行部にも報告し、他の事業との兼合いがあるので今すぐ100円バスの実現は厳しいと言う返答。100円バスは私達も良いと思うが、高齢福祉に対して、移動手段について、もっと力を入れていかなければいけないということは預らせて頂く。
- ・(意見) 他所から来た人に、空家のリフォーム補助をしっかりとPRして、手厚くすれば、空き家が減る、市の困りごと減る、人口もどうにかなるのではないか。
- ・(意見) 視覚障害者の方の先ほどの切実な願い、生活に困っている人がこれだけいるのに、今の説明はとても不親切。答えがすごい他人事。
- ・(要望) 普通タクシーを利用しているが、運転手が障害者は介護タクシーに乗れば良いという考えで2度3度、愚痴を言われた。運転手に悪い顔をされて、1人で乗るなどと言われて肩身が狭い。お年寄りも外に出ましようと言われるが、そんな感じだから外に出にくくなる。改善できないか、それを市の方で言ってもらいたい。
- ・(要望) 子どものためにも、コミュニティーの場を残して欲しい。例えば、盆踊りを止めるという話が出て、そういう場に市議が行つて助言をして欲しい。

#### **《産業常任委員会関係》**

##### **\*商店街等活性化事業と小規模土木事業を増額補正**

- ・(質問) 何故、縄地ヶ浜が花火の打ち上げ地として選ばれたのか。安全面で大丈夫なのか、この2点について、どうなのか。
- ・(回答) そういう質疑はしなかった。安全面は事業責任者である商工会議所が責任をもってやられると思う。  
場所はそこしかなかった。ご心配の色々な危険に関しては、警察、消防、行政

の各関係機関から許可を頂いてやっている。100万円議決したので、しっかり見ておきたいと思う。

- ・(質問) 花火は昔からある。なんで新しいところですか。
- ・(回答) 委員会では議論していないが、市民まつりが無くなって、花火が無くなった、何か復活して欲しいという声があって、商工会議所が花火大会をしたいということで始めた。
- ・(質問) 100万円の補助だが、厚狭も埴生も花火をしているがどうなのか。
- ・(回答) 埴生の花火は100万円出ている。厚狭が85万。
- ・(意見) 花火もよいが1日なのでその時だけでもったいない。継続した何かをRMOで、地域で考えないといけない。有帆や本山では地域運営組織で花火を打ち上げる。(総務文教および産業建設)
- ・(意見) 今年、秋吉台の花火大会が有料制だった。花火は有料観覧席を設けるところが増えている。有料席で収入を得る手段もある。

#### \*住宅リフォーム資金助成事業の予算増額を求める決議

- ・(質問) 住宅リフォームの補助をする理由は何か。
- ・(回答) 例えば耐震、家の建て替えは無理でもリフォームしたい、バリアフリーしたい等の高齢化対策などで、市の方から補助する。
- ・(質問) 耐震のためにということは分かるが、もっと住みやすくするためのリフォームに関してまで補助するのはおかしい。自分で出したら良いと思うが、どう考えたら良いのか。
- ・(回答) 市内業者の育成と地場産業の育成のためにやっている事業でもある。市民の方からは、何もかもリフォーム助成するのはどうなのか、という懸念の意見を頂いた、と審査の際に出させていただく。
- ・(質問) 住宅リフォームは幾ら出るのか。
- ・(回答) 地元業者で、7万円が上限。
- ・(意見) 高齢化で手すりを付けなければいけない場合は介護保険に申請が出来て、住宅リフォーム助成で補助する必要はない。
- ・(意見) 申請の件で、例えば雨漏りした、申請して許可まで雨漏りの修理は出来ない。そういう状況を改善すべき。一応受付をし、反社や税金滞納などに引っかかると出ないよとすれば工事ができる。お願いしたい。

#### \*その他

- ・(質問) 道に木が覆いかぶさっていて、緊急車両の通行が難しい。どうにかならないか。
- ・(回答) 法律改正がされて、行政に申し立てをしたら切れることになった。何処の道にどんな木があって人が通ると危ない、車が通る際にあたる、といったことを市へ

連絡したら良い。

- ・(質問) これから先の高齢化の社会をどうやっていくのか、議員の皆さんと話してみたい。議会カフェも良いが、もっと自治会の中に入って来てもらい、自治会のみんなと話をし、これはここまでできる、これは行政が、ここからは皆さんがやりなさいとキチンと分けて、これからの社会をどういうことになるのかをやっていかないといけない。議員2人ぐらい来てもらって話をし、そういった機会を作ってもらって、意見を徴収して議会、市政に反映してもらいたい。
- ・(回答) 今、広聴特別委員会がこの議会報告会担当だが、こういった場所に来ていただくだけでなく、委員全体でどんどん出ていこうと議論している。今の御意見は貴重な御意見として受け止め、広聴特別委員会で議論していく。
- ・(意見) 県内の餅まきに行っているが、もう52か所程今年だけで行った。小野田線の無人駅をスペースにして、何かイベントなどに活用できないか。スタンプラリーや携帯アプリでクイズを解くなども考えられる。活性化事業として、美祢線や小野田線で餅まきをするなど、立派な題材となり得る。  
美祢市は交流センターで住みます芸人と一緒に毎月イベントをされている。餅まきで集客できる。
- ・(意見) 横断歩道とか道路の白線が消えている。柚尻のバイパス下も道も分かりにくい。夜とかは怖い。

## その他

- ・(質問) みんなの意見を回答して欲しい。しないと意見した甲斐がないがどうか。
- ・(回答) 議会カフェでお預かりしたものは、議会の主なものは、議論に関してこちらの方を参考に見てください。
- ・(意見) このような場には行政が来た方がいいのではないか。
- ・(意見) もちまきで町おこしもできる。
- ・(意見) 美祢には地域おこし協力隊で芸人がまちのPRをしている。山陽小野田でもできないか。

# 議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ②

令和6年11月7日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

広聴特別委員会

委員長 森山 喜久

令和6年9月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

## 記

- 1 開催日時 令和6年11月7日（水） 19:00～20:30
- 2 開催場所 Aスクエア
- 3 参加人数 53人
- 4 担当議員名 伊場 勇、大井 淳一郎、岡山 明、奥 良秀、笹木 慶之、  
白井 健一郎、恒松 恵子、中岡 英二、中島 好人、中村 博行、  
福田 勝政、藤岡 修美、古豊 和恵、前田 浩司、松尾 数則、  
宮本 政志、森山 喜久、矢田 松夫、山田伸幸、吉永 美子
- 5 報告会次第
  - (1) 高松議長挨拶
  - (2) 9月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 奥良英
    - ① 総務文教常任委員会
    - ② 民生福祉常任委員会
    - ③ 産業建設常任委員会
  - (3) 全体的な意見交換会

## 6 各テーブルの意見

### 〈総務文教常任委員会関係〉

#### \*令和5年度に実施した地域運営組織(RMO)形成に向けた財政的支援と支援員の配置

- ・(質問) 支援員の配置とは、支援員は1人ずつ地域から出すのか。
- ・(回答) 週3回の7時間勤務で、地域のことをよく知っている方が、支援員として配置されている。
- ・(質問) 支援員は地域の人ですか。
- ・(回答) 市職員のOBや元議員等、市に関わった人である。地域の実情がよくわかっている方が着任している。
- ・(質問) RMOの内容を説明してもらえるか。
- ・(回答) 地域のことを地域でしていこうという趣旨のもとで行われる。今、自治会協議会とか、社会福祉協議会、婦人会等の団体があると思うが、役員が被っている状況なので、それらを一本化する。高千帆地区、小野田地区、本山地区等11の地区に分けて話が進められていて、交流部会、環境部会、自治部会等をつくっている。それぞれの地域での課題、例えば交通政策的な部分が欲しいとか、農業政策的な部分、観光的な部分、商業的な部分等、各地域様々違うので、自分たちの地域を少しでもより良くするよう話し合いが進められている。
- ・(質問) 財政的支援はどれくらいか。
- ・(回答) 基本額は各地区100万円。さらに各地区に人口割、後期高齢者割でプラスアルファされる。
- ・(意見) 今日初めてRMOのことを知った。誰がこれをやろうと持ち出したのか知りたいし、誰がまとめ役をしているのかが見えない。市民からの要望で行われたと言うわけではないよね。

#### \*災害応急工事事業を増額補正

- ・(質問) 増額補正とのことだが、今まではどうだったのか。
- ・(回答) 昨年も大雨災害があり補正予算をした。

#### \*その他

- ・(質問) 災害があった際、体育館が避難場所で、夏とか冬とか皆さん寒い寒いと言われるが、エアコンをつける予定はどうか。
- ・(回答) 市民体育館はこれからエアコンをつける。ただもう少し時間がかかる。他の議会カフェでは避難所のことだけ考えずに、子どもたちの体育の授業が暑いという状況の中、体育振興も考えて欲しいという意見が出た。
- ・(質問) 他の自治体ではないが、山陽小野田市ではこういうのをやっていますよというのがあるか。

- ・(回答) 小学校入学のお祝い金を5万円出している。中学校も出している。
- ・(意見) その昔は近所に結婚を心配する人がたくさんいた。地域交流センターで出会いの機会が設けられるような何かができないか。

## 《民生福祉常任委員会関係》

### \*市民病院の決算について

- ・(質問) 外来患者が何故減ったのか。
- ・(回答) コロナで受診控えがあったが、それが更に減るのは解明しなければいけない問題がある。しっかり解明していきたいと思う。
- ・(質問) 赤字と言うことか。
- ・(回答) そう。黒字ではない。今後は赤字を限りなく減らして行こうとしている。
- ・(質問) 救急車が現地に来て、すぐ出発しないで、1時間も2時間も待ってるらしい。受入れるところがないから。市民病院の受入れはあまり聞かない。夜の受入れ、土日の受入れ、救急病院としてどうなのか。せっかく大きな病院があるのに、受入れてもらえない。
- ・(回答) 土曜、日曜等は輪番制となっている。宇部・山陽小野田・美祢で一つの医療圏域を形成しており、この日はこの病院が当番だ、となっており、結果、色々な所に行ってもらう様になっている。
- ・(回答) 一番の原因は医者不足。構造的な問題だが、委員会の中でも指摘したい。
- ・(質問) 診療報酬がやはり少ない。それが1番だと思うがどうか。
- ・(回答) 診療報酬は国が決める。今回、病床数を199床に減らして、診療報酬を上げる努力をしている。
- ・(質問) 宇部興産中央病院は脳の方で有名になった。この病気だったら山陽小野田の病院が良いよとなれば、また変わってくる。やはり先生よね。
- ・(回答) 診療報酬が良くないと、先生を呼んでこれない。産婦人科が頑張っているが、それ以外に見つけないといけない。
- ・(意見) 稼働率85%で赤字なのが不思議。同様の市民病院もそうなのだろうか。
- ・(意見) 市民病院は医者不足と聞いている。給与が低いのでは。
- ・(意見) 病院統合の話はどうなったのか。
- ・(意見) 予約の時間に行っても、それから1時間半くらい待たされた。丁寧にしていたく方が良いが、患者へのサービスをもう少し考えたら、外来患者も増えると思う。

## 《産業常任委員会関係》

### \*商店街等活性化事業と小規模土木事業を増額補正

- ・(質問) クリスマス花火だが、どのような経緯で始まるようになったのか、継続して行

う事業なのかどうか。

- ・(回答) 市に小野田商工会議所から花火イベントとして補助金を出してもらえないか、と要望があった。地域振興ということで交付事業に関して市が要望書を審査して、補助金をだすようにした。継続することで議会として承認した。
- ・(質問) 花火大会を観覧する人数をどれくらい想定されてるのか。
- ・(回答) 審査の中で確認していない。
- ・(質問) 花火の総予算はどうなっているのか。
- ・(回答) 1,000万円。
- ・(質問) 小規模土木事業で負担が1割増えた。今、繰越はどれくらいなのか。
- ・(回答) 基本的に令和5年度の申請は令和6年度で全部やる。何年も待たされることはない。

#### \*その他

- ・(質問) 病院に行くのに、バスが減便されている。補助金を出していると思うが、減便や運行について、市民の声を聴かず企業任せにしたのか、それとも市が直接話をして十分議論してきたのかが分からない。運転免許証の返還もあり、市民病院への通院を考えても悩ましい。改善の余地があるのではないかなと思うが、どうか。
- ・(回答) 地方公共のバスの補助金は1億5,000万円弱だが、その後、国と県からの補助金等があり、実際の市の負担は2,600万円、1億5,000万円弱のすべてを市が負担しているわけではない。高齢者や免許返納者に関して、バスの使い勝手が悪いとか、高泊でデマンドが始まったが、まだ不備な点があるので、公共交通に対して議案が出てきた際、産業建設常任委員会でしっかり審査していく。
- ・(質問) スケボーパークは進んでいるのか。
- ・(回答) 埴生の青年の家、これから案が出てくるが、スケートボードやドッグランとか、最近若い世代が集まりやすい施設をするべきじゃないか、と委員会からは出している。
- ・(意見) バスの便数が減っている。バス停に椅子も無い、何もない。膝も悪いし、長く立つのが辛い。
- ・(意見) バスの利用で、学生にやさしいが、老人にも優しくして欲しい。
- ・(要望) 子どもが、市内で遊ぶ場所が少ないと思っている。宇部空港の所は結構大きい遊具もあり、子どもも楽しめる。そういった施設が市内にもう少し増えて欲しい。雨の日に子どもが遊べる施設も欲しい。
- ・(要望) 地域交通は大事で大きな課題。この課題をよく考えて、議論する場をつくって欲しい。

## その他

- ・(質問) 今、何の町なのか。あまりピンとこない。
- ・(回答) かるたとガラス、最近はゴルフのまち。
- ・(意見) 大学以降は小野田からずっと離れていた。自己紹介するときに、小野田と言ってもわかってもらえないので、小野田セメントの町から来た、と言うとそれなりに分かってもらえた。現在の人たちは、自分の町を紹介するのに、こういう町だと何か特徴づけるものがない気がする。議会でも何かそういうテーマづくりをしてもらいたい。

美祢線、小野田線、本山線とか、すごい宝。何かうまく利用して欲しい。
- ・(意見) 同じ市内でも本山地区は子どもの数が極端に少ない。地域に店もない。住んでいる地域によって差があることに対して議員の考えが聞きたい。
- ・(意見) 同様に本山地域の保育園は定員がいっぱいなのに、本山小学校への入学が少ないのが残念。
- ・(要望) 市で行うか、若しくは民間に促すか、若しくは市と民間が連携するなどの方法で、スケートボードなどの環境整備をしてもらいたい。
- ・(要望) 高齢化した地域のためにシルバー人材センターなどに作業を市の予算で頼めないものか。
- ・(要望) 理科大生のために様々な優遇措置があると聞いた。このAスクエアの寮もそうである。せめて地元就職するなど卒業後も山陽小野田に残る仕組みを作ってほしい。
- ・(要望) 一般市民が問題提起したことに対して、回答をキチンとして欲しい。皆さん色々な意見を言われるかもしれないが、本当に貴重な意見だと思う。

# 議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ③

令和6年11月14日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

広聴特別委員会

委員長 森山 喜久

令和6年9月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

## 記

- 1 開催日時 令和6年11月14日（火） 19:00～20:30
- 2 開催場所 厚狭複合施設
- 3 参加人数 10人
- 4 担当議員名 伊場 勇、奥 良秀、白井 健一郎、恒松 恵子、福田 勝政、  
藤岡 修美、古豊 和恵、前田 浩司、松尾 数則、宮本 政志、  
森山 喜久、山田伸幸
- 5 報告会次第
  - (1) 高松議長挨拶
  - (2) 9月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 伊場 勇
    - ① 総務文教常任委員会
    - ② 民生福祉常任委員会
    - ③ 産業建設常任委員会
  - (3) 全体的な意見交換会
- 6 各テーブルの意見

### ＜総務文教常任委員会関係＞

\*令和5年度に実施した地域運営組織(RMO)形成に向けた財政的支援と支援員の配置

- ・(質問) 財政的支援とはなにか。
- ・(回答) 10 万円の支給は、各地域交流センターに立上げのための準備費用で視察や会議費に使われている。
- ・(質問) 支援員の人選はどのように決まるのか。給料面とかどうなのか。
- ・(回答) 支援員は各地区にゆかりのある人、状況が分かる人がピックアップされている状況で、9 月末までで今 11 地区のうち 10 地区に支援員が配置された。厚狭地区に関しては未配置。支援員は市の会計年度任用職員の身分で、週に 3 日で、1 日 7.5 時間勤務が基本。ただ、地区によっては毎日居て欲しい、午前だけでも居て欲しい、2 人体制にして欲しい等の課題、懸念があがっている。
- ・(質問) 厚狭では以前、多くの人が集まって話をしたが、その後は声がかからない。どうなっているのか。
- ・(回答) 小学生から団体の役員まで集まって、ワーキンググループで話をした。その後は役員中心で話をしている。ワーキンググループで、こういう厚狭になってもらいたい、という話をしたが、それを取りまとめたのはセンター便りで回覧されている。

#### \*災害応急工事事業を増額補正

- ・(質問) 予算の増額とかで、そういう決議されると思うが、何をもって認めるに至るのか。
- ・(回答) 510 万円増額の場合、その理由をまず説明してもらい、こちらが質疑する。何故 510 万円なのか、迅速に対応できるのか、災害応急なんで、被害が大きくなる前に応急処置ができるのか、等の説明があって、議会が納得すれば、承認という話になる。委員会から追加資料を求めたりすれば、その審査は先送りの場合もある。

#### \*その他

- ・(質問) ゴルフ場利用税交付金、これは利用者が増えれば増えるほど入ってくる税金は増えることになり、金額的に見ても実際伸びていける状況だし、実際に市民からしても山陽小野田はゴルフのまちというイメージがある。要望としては市とゴルフ場がタイアップして、何かこれをもっと伸ばしていったら、色々な意味でメリットがどんどん出てくる。何か考えられているのか。
- ・(回答) 徐々に伸びている。ゴルフ場利用税の 1 番の問題は、目的税ではなく、ゴルフ場から利用税をもらうけどゴルフ場に返すものではない、という点にある。広く公に使える中の一部だが、ゴルフ場がないと入らない税でもある。最近の進展は、ゴルフのまちと言い出し、シティーセールス課などで観光プラスやインバウンドでやってきている。何か補助金も出せないか、と検討しているが、なかなか形に

できないのが今の状況である。

## 《民生福祉常任委員会関係》

### \*市民病院の決算について

- ・(質問) 黒字が言われているが、非常に厳しい、無理だと思っているという局長の答弁に対して、どのような審査が繰り広げられたのか。
- ・(回答) 審査の中で深堀をしていない。
- ・(質問) 昔は市民病院の先生の給料が安い、救急車に乗っても労災に行ってくれとか、そのような先生の質の問題が赤字に結びついているのか、見解はどうか。
- ・(回答) 充実した病院の施設であり、医師もおられる。
- ・(質問) でも、充実した施設であり、先生がおるならば患者数も増える。充実した看護師がいれば患者も増える。何が足りないのかって考えたら、教育が足りないのか、給料が足りないのか。どうなのか。
- ・(回答) 委員会でそこまで突っ込んだ質疑はなかったと思う。
- ・(質問) 訪問看護ステーションを立ち上げる事業者が増えてきている。医療と福祉、両方とも。市民病院だからこそできるような訪問看護ステーションの取組みがもしあれば教えて欲しい。
- ・(回答) 特に市民病院だからどうかという説明は受けていない。入院をされて、退院された後のケア、24時間365日でやっている。このような特色がある報告は受けていない。すみ分けについては、各病院と話をしながら行っている。
- ・(意見) 市民病院の決算、赤字でもしょうがないんですよ、って、会社がつぶれる。みんな一生懸命頑張ってますからが通る、会社は絶対潰れる。本当、面白いなと思ったし、それで済むのかと思った。

### \*その他

- ・(意見) 子どもを育てるには、医療が充実していないと他の市に移住してしまう。
- ・(意見) 子どもが病気の時のサポートがどうなのか。親のサポートを頼っているが、居ない所はどうなのか。子どもの遊ぶ場所も少ない。

## 《産業常任委員会関係》

### \*商店街等活性化事業と小規模土木事業を増額補正

- ・(質問) 予算の増額とかで、そういう決議されると思うが、何をもって認めるに至るのか。
- ・(回答) クリスマス花火大会のために小野田商工会議所が市に助成してもらえないか、と要望があり、市は100万円程、小野田商工会議所に花火費用として出す内容の議案が出る。何故必要なのか、100万円を出したらどうなるのか、どう良くなる

のか、等を聞いて、この様な地域振興のためにやりたいと詳しく説明を受けて認める。

- ・(回答) 小規模土木事業の場合、26 件程今年申請があり、昨年からの積み残しもあって、当初予算 2,200 万円を 2,600 万円ぐらい使う見込みで、来年の 3 月末までにはもう少し増える。330 万円ぐらい不足するので 330 万円お願いします、と提案してきた。質疑すると、自治会からの要望事項や今年度分のこと、来年度分のことまでが具体的に説明される。ちゃんと整合性のある説明をしたので、それはいいですよ、となる。議員も資料とか調査研究して、正しい予算を設定しようということを決めている。
- ・(質問) 花火の助成金、経済効果の根拠はどうか。
- ・(回答) 商業振興諸行事補助金の実績が提灯七夕フェスティバルとか小野田駅前ふれあいまつり、寝太郎まつり、厚狭花火大会、おのだ七夕祭り、厚狭秋祭り、お祝い夢花火等々に、それぞれ予算が出されている。今回の小野田商工会議所の花火大会も各種イベントと同等で経済効果があるということで、市が議会に上げて、金額的には他のイベントと変わらない補助金であり、効果があるとみて委員会で認めようとなった。
- ・(質問) クリスマス花火の件はどのような経緯であがってきたのか。ある議員が質疑で突っ込みかけたが、その後はどうなったのか。
- ・(回答) 今回は特に議会に要望が上がった訳ではなく、市に商工会議所から要望があり、それを市が予算化して、今回の補正で出た。議会は、委員会に出るまでは情報が余りなかった。
- ・(質問) 以前、青年部で全国ゴルフ大会を作った。全国、県内から約 300 人が来たときに補助金申請したが、そういうコンベンションをやった事例がないと言われた。結果は申請して、最終的に 10 万円ほど頂いた。宇部や下関だと何人規模だったら何人助成すると決まっているが山陽小野田は取り決めがない。またそのとき我々自身で試算した経済効果、県外から約 200 泊して、ゴルフをする、食べる、宿泊で、やっぱり 800 万円以上だった。今回の 100 万円の助成金。どのぐらいの経済効果があれば 100 万円という支出となるのか。
- ・(回答) 担当課の説明は、アフターコロナで山陽小野田市内の宿泊施設とか飲食店がまだまだ低下している、売上げも。だからそういった地域振興の需要喚起のために、ぜひ花火をやりたい。1,000 万円の予算の中で、国や県からも交付金もらえるし協賛金も集めるので、市で 100 万円出してもらえないかと相談が小野田商工会議所からあったということ。

#### \*その他

- ・(要望) オートレース、夜 12 時半までレースをしていて、照明が明るいとかの話聞く。

夜間のレースによって儲けも出ていると聞くので、埴生にスーパーを誘致するとか、埴生地域に貢献してもらいたい。

## その他

- ・(質問) 議員になって本当に仕事してますか。自分が思ったことができていくかっていうのもあるし、選挙のとき色々と「私はこうやります」、「僕はやります」、「これに向かってやります」と言っている。そういうふうに向かっているけど、それが実現できた人がいるのか。議員の仕事きちんとできてますか。
- ・(回答) 要はその見えないところで個人がどれだけ動いてるのかというところが一つあると思うが、私は結構やってる方ほう。福祉をやりたいと訴え、やって来ている。結構充実感がある。
- ・(回答) 議会の中でも、議員でもすごく忙しい人とそうでもない人の差がすごくある。仕事量が全然違う。それをしっかり発信しないから、議会全体として見ると、誰が忙しくて忙しくないのかが分からない。その成果や取組内容等々も見えてない点はすごく反省するところである。議員個人の能力もすごく差がある。それを選んでは市民なので、もっと議会のオープンに公開したり、もの凄く見やすい環境ができれば、議員に対しての印象、議会に対しての印象も変わり、議員になってみたいという人もいるかもしれない。それにはもちろん報酬のことも関わってくると思う。
- ・(回答) 自分なりに聞いてて、不十分であるというのが実情です。今回、皆さん方から頂いた意見をもっと前に出して議員活動をしていく必要性があると反省している。報酬にかなった仕事をこれからもしていきたい。
- ・(回答) 女性の目線として、母親の目線として、私は一生懸命やっていきたいし、できたのではないかなと思っている。
- ・(回答) 私自身は地域のスポーツクラブを色々やっている中で、市の行政と噛み合わないのを何とかしたいなっていうのが一番。災害関係を何とかしたいっていう思いで議員になって、今まで一般質問を何回もやった中で、若干なりと市でも理解が出てきてある程度形になりつつある。それなりには充実感を持ってると、中学の部活動地域移行がなかなか進まないの、今ちょっとそれに一生懸命な状況である。
- ・(回答) 議員の中には議員でいたい、650万の報酬が欲しい、名誉が欲しい、先生と言われたいと思ってなっている人もいるかもしれないし、議員になったからには一生懸命仕事をやっていかないといけないという議員もいるかもしれない。僕は志の中では後者である。選挙の時に公約したこと、市民と色々な話をして改善点を見付けていくこと、そういったことが出来なくなったら僕はもう議員をやめようと思っている。伊場議員がすごく良いことをいった。結局、議員を選ぶのは市民

の方。議員のレベルが低いことは、選ぶ市民の方のレベルが低いということ。

- (質問) 一般質問を本当見て欲しい。委員会も見て欲しい見ると意外と面白い。山陽小野田市民の人に議会をとにかく色々見て欲しい。何か取り組みがあるか。
- (回答) 一般質問をより近くに感じていただくために、一般質問をする前に1分間スピーチを12月議会から新しく始める。
- (質問) 選挙に出ようとなれば、幾らかかるのか。
- (回答) 供託金30万円が準備できたら、後は公費でポスター代やガソリン代とかは出るので、出るとは可能。車ではなく、自転車で回る方法もある。ピンキリではあるが、それほど高額にはならない。
- (要望) 議会では本音で言い合って欲しい。
- (意見) 見積りを頼まれて、現地に行って協議をして、経費かけて、残業代も出しながら見積もりを出した。いざ、入札となったら、市外業者が落札していった。表面上の情報だけで、ポッと出て、安い金額を出されて取られると堪ったものではない。今度から落札した市外業者に頼んでもらいたい。
- (意見) 昨年、施設改修が必要ということで予算確保のための見積りを頼まれて提出した。今年、その入札があったらしいが、その入札には声がかからなかった。声をけないのならば、最初から見積を出させないで欲しい。

# 議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ④

令和6年11月19日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

広聴特別委員会

委員長 森山 喜久

令和6年9月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

## 記

- 1 開催日時 令和6年11月19日（火） 19:00～20:30
- 2 開催場所 Aスクエア
- 3 参加人数 11人 小野田商工会議所青年部
- 4 担当議員名 伊場 勇、大井 淳一郎、岡山 明、奥 良秀、笹木 慶之、  
中島 好人、藤岡 修美、古豊 和恵、前田 浩司、宮本 政志、  
森山 喜久、矢田 松夫、吉永 美子
- 5 報告会次第
  - (1) 高松議長挨拶
  - (2) 9月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 奥 良英
    - ① 総務文教常任委員会
    - ② 民生福祉常任委員会
    - ③ 産業建設常任委員会
  - (3) 全体的な意見交換会
- 6 各テーブルの意見

### ＜総務文教常任委員会関係＞

\*令和5年度に実施した地域運営組織(RMO)形成に向けた財政的支援と支援員の配置

- ・(質問) 今回挙がった項目、議会としてどういう理由で選定したのか。
- ・(回答) 9月定例会で審査された内容から、市民の方が関心が高いものを委員会で協議して決めた。他に条例の改正等々もあったが、この二つが特に気になる点であり、市民生活に直結すると思った。
- ・(質問) 地域運営組織について。これは自分の所でも当然あると思ってるが、まず誰に声がかかっているのか、そこからどうやっておりてきているのか、などを聞かせて欲しい。
- ・(回答) 今の検討会は令和5年度からやっており、核となるのは自治会運営協議会、ふるさとづくり協議会、地区社協にいらっしゃる方と各地域交流センターのセンター長が主に話し合っており、この人を入れようとかの話し合いが根本的なスタート。
- ・(質問) 支援員個人の力量の問題、教育はどうか。
- ・(回答) 毎月1回は地域づくり支援員が集まり、各地区の情報交換をしたり、アドバイザーの講義を受けている。それぞれ年配から1番若くて50代、それがまた地元に戻って発信する。もちろん差が出てきており、そこが課題である。アドバイザーの勉強を受けようが、みんなが集まって会議しようが、少し力不足じゃないのか、と地元で感じておられる人がいることを委員会で取上げていきたい。

#### \*災害応急工事事業を増額補正

- ・(質問) 増額補正だが、常に1年前を見るのか、複数年の実績をみるのか。
- ・(回答) 今回は8月～10月の台風や長雨での災害実績、過去5年間を見て1番大きい金額で補正した。
- ・(質問) 510万円だが、もし甚大な台風とか被害が出た時は少ないような気がするがどうか。
- ・(回答) あくまで災害応急の金額であり、いま言われたような大きな災害が来た場合は、本災の国庫補助事業として別に予算を組み立てることになる。

#### \*その他

- ・(意見) 青年部は子育て世代でもあるが、今回子育て政策に関する項目が上がっていない。私も幼稚園の経営をしているからこそ思うところもあるが、幼児教育、保育で実際に一般質問される市議がない。議会の一般質問を見て、それだけ議員の皆さんは、子供のことに関して話がないのかなと思う。これだけ人口減と言われて、少子高齢化と言われてる中で、市としてその対策をどう考えていくかというアイデアがそもそもないのかという疑問を常々やっぱ感じる。一般質問が出ないのは、そもそもそう考えてないことでもあるのではないかと正直感じている。実際、市の政策も幼稚園・保育園体制の予算を増やそうという話も出なければ、

実際に全く増えてない。無償化になって、予算的上は予算要求の中では上がったように見えてますが、その財源は消費税で、市から出てない。国からの予算をそのまま市内の幼稚園、保育所に渡してる、仲介事務処理をしている。その事務処理は大変だが、予算的にそうになっている。

山陽小野田市に住んでる子供たちをどう育てて、どういう大人になって欲しいかというビジョンを、市としてはやっぱ示して欲しい。この夏の猛暑で、外で子供たちは遊べてない。天気よくても、熱中症のアラートが出たら怖くて、外で思い切り遊ばせることができない。何かあったときにその命に変えることはできないので、室内でエアコンのきいた中で過ごしてもらおう。そこに対して市が、子供たちが安心して遊べる環境をつくる、それに対して施設が何か手当てして考えてくれと予算をつけた自治体が他にある。実は県内でもある。そういう思いに至ってないのがこの山陽小野田市の現実。ちょっと視点を子供たちに向けて欲しい。リフォームもちろん大事、商店街も大事、経済も大事ですが、人がいなくなったらそもそもこの町は終わっていく。我々の運営、関係する者からのお願いであり、そこに真剣に向き合っていただきたい。(民生福祉常任委員会と重複)

- ・(意見) 市のデジタル化が全然進んでない。DX協創プラットフォームという会議体を市はつくられているが、私も会議所の代表として2回出て、色々提案はしてるのだが、何も進んでいない。結構、花火は挙げられるが実情が伴ってないのがずっと続いている。費用対効果が低いと思う。そこは改善をしていくべきと思う。

議会でタブレットを使われてるが、議員控室にはWi-Fiは届いていない。そもそもインフラをまず整えないことにはIT化にもならないし、デジタル化につながらない。そこを設計できる人が市役所の中にいない。それをコンサルに頼んでるなら、そういうシステム設計もやるべきだと思うが進んでない。窓口にしても手書きで、手書きしたやつを奥で職員が打ち込んで、それを今度はプリントアウトして確認して、それを交付する。これすごい無駄だと思う。そういう余計なことをIT化して、デジタル化していかないと今の人数では絶対に業務は終わらない。お客さんも時間をわざわざ作って窓口に行っていることもあるし、窓口の職員も色々な業務のある中で一人ひとり対応していくのは時間をすごく取られると思う。

お金を払う部分、自動精算とか進んではいるが、そもそも手続きの段階で考えていかないと、遅れ過ぎではないかと思う。

生成AIでコンサル入れて、膨大なお金がかかっているが、そこを一度精査して頂きたい、費用対効果の面も含めて。

## 《民生福祉常任委員会関係》

\* 市民病院の決算について

- (質問) 今回挙がった項目、議会としてどういう理由で選定したのか。
- (回答) 市民に直結をしている事業ということが1番大きい。市民に関連するものとして市民病院になった。
- (質問) 何が問題で赤字なのか。設備がとか言われたが、動画では分からない。本当の原因は何か分からない。
- (回答) 令和5年度は赤字だが、令和4年度、令和3年度は黒字。収益も増やさないといけないけれど、費用がかかれば、当然赤字になっている。  
 診療報酬との兼合いもあるが、外来患者を増やすと言っていたが、減ったという実態がある。外来患者がどの様に減ったのか、委員会では分析していない。  
 医師が増えないこともある。常勤医師30人をめざしているが、現実には25人。市民病院のトップが山口大学に行って医師の増員をお願いしてもなかなか増えない。医師の報酬がそんなに高くないのではないか、との指摘もある。
- (質問) 時間は何時からなのか。11時までだと使いにくいのだが、どうか。
- (回答) 平日8時半から11時までが受付です。委員会審査の際、この点もしっかりと質疑につなげていきたい。
- (質問) 赤字なのか。
- (回答) 短期も赤字で、累積でも29億以上の赤字となっている。要因は色々ある。例えば人件費、材料費の値上げ、この度一番痛かったのは新型コロナウイルスの確保病床で補助があったが、それが一気に減ったのが赤字を大きくした原因の一つ。
- (質問) 民間は別で、公立病院で例えば山陽小野田市と同じ規模で、黒字の病院はないのか。
- (回答) 探してるがない。
- (質問) 稼働率が85%できつという事は、基本的に人手不足なのか。
- (回答) 85%の件、人が沢山いて回せるとしても、今度は人件費が上がる。診療報酬は国で決まっているので稼働率85%を、90%や100%にしたら実際黒字になるのかどうかという回答は頂いてない。

#### **\*その他**

- (意見) 青年部は子育て世代でもあるが、今回子育て政策に関する項目が上がってない。  
 私も幼稚園の経営をしているからこそ思うところもあるが、幼児教育、保育で実際に一般質問される市議がない。議会の一般質問を見て、それだけ議員の皆さんは、子供のことに話がないのかなと思う。これだけ人口減と言われて、少子高齢化と言われてる中で、市としてその対策をどう考えていくかというアイデアがそもそもないのかという疑問を常々やっぱ感じる。一般質問が出ないのは、そもそもそう考えてないことでもあるのではないかと正直感じている。  
 実際、市の政策も幼稚園・保育園体制の予算を増やそうという話も出なければ、

実際に全く増えてない。無償化になって、予算的上は予算要求の中では上がったように見えてますが、その財源は消費税で、市から出てない。国からの予算をそのまま市内の幼稚園、保育所に渡してる、仲介事務処理をしている。その事務処理は大変だが、予算的にそうなっている。

山陽小野田市に住んでる子供たちをどう育てて、どういう大人になって欲しいかというビジョンを、市としてはやっぱ示して欲しい。この夏の猛暑で、外で子供たちは遊べてない。天気よくても、熱中症のアラートが出たら怖くて、外で思い切り遊ばせることができない。何かあったときにその命に変えることはできないので、室内でエアコンのきいた中で過ごしてもらおう。そこに対して市が、子供たちが安心して遊べる環境をつくる、それに対して施設が何か手当てして考えてくれと予算をつけた自治体が他にある。実は県内でもある。そういう思いに至ってないのがこの山陽小野田市の現実。ちょっと視点を子供たちに向けて欲しい。リフォームもちろん大事、商店街も大事、経済も大事ですが、人がいなくなったらそもそもこの町は終わっていく。我々の運営、関係する者からのお願いであり、そこに真剣に向き合っていただきたい。(総務文教常任委員会と重複)

- ・(意見) 宇部市は保育幼稚園課があり人数がすごく多い。担当する部署、人数もすごく、体制人数もすごい。市長が色々アイデアを出しながら、対策を色々発表されて実施している。山陽小野田市は子育てに関する部署、子育て支援課が窓口である以上は、予算や体制も含めて考えていただきたい。

### 《産業常任委員会関係》

#### \*商店街等活性化事業と小規模土木事業を増額補正

- ・(質問) 今回挙がった項目、議会としてどういう理由で選定したのか。
- ・(回答) まちづくりの花火、小規模土木、住宅リフォームについても、生活に密着しているということで選出をした。
- ・(質問) 商店街とか何かテナントに入られる方に対して、創業支援とかの対象者が少ないようなので、対象を広くしてもらった方が良いと思うがどうか。
- ・(回答) 商業振興諸行事補助金交付要綱、山陽野田市補助金交付規則があるが、対象が狭まっているので、議会としてもっと広げたらどうかという御意見を頂いたので、委員会ですっかり、その辺りは審査していく。
- ・(意見) 商店街等活性化事業で、若者たちが楽しめる場所が必要。子育てに大事なものは全部そろってはいるが、やはり若者たちが遊べる場所がないっていうのはすごく問題じゃないかなと思う。

#### \*住宅リフォーム資金助成事業の予算増額を求める決議

- ・(質問) 増額は、お願いされる予定なのかどうか。

- ・(回答) 増額した方が良いですよ、と議会から担当課に要望を出すことを決めたのが先ほどの報告動画。いくら増額しろとは決めていない。増額も、来年の3月議会には出てくると思う。その時には審査をしっかりとする。
- ・(意見) 一般の人に周知をしてもらいたい。業者側からの提案が結構ある。それだとあまり意味がないのではないか。出来ればお客さんから使いたいんですが、と市内業者を選んでくれる流れにしてもらえれば本来の在り方かな。
- ・(意見) 事後申請があると助かる。申請を出してOKが出るまで1週間くらいかかる。結構時間がかかるが、リフォームする人は早くやりたがる。国のリフォーム制度は事後でもOKなので、システム的に難しいかもしれないが、あると助かる。

## その他

- ・(質問) 今回、普通の議会カフェということだが、一般の方向けの議会カフェもこの前されていた。今回は青年部で、限定された対象者で年齢も分かっているのだから、この議案の項目を出されるのは、僕はちょっとおかしいんじゃないかなと思って。一般の市民とはまた違う項目、我々、要は子育て世代であり、仕事中心で経済を中心でやってる立場に合った項目を意見交換あれば出してほしい。市民病院も市民にとって最後の砦であり、ないと困ると思うが、今日ここで話す大事な項目かと言われると、優先順位はちょっと考えていただきたかった。
- ・(回答) 報告内容の件については広聴特別委員会で、対象によって意見交換の内容は精査していく方が良いのではないかと、としっかり議論していきたい。
- ・(質問) 今回のレジュメを見て、例えばここで意見交換とか情報交換する意義が全く見えない議題になってると思う。例えば病院の運営とか、補正予算についてどう思うかって、我々からどのような意見が欲しいのか、意図も読めないし、全くナンセンスな話題だと思う。安芸高田市が今、よくも悪くも話題になった発端って、無印良品の出店を巡り色々な考え方があることを市民に対してPRして、それぞれの意見を求めるようなことをした。少なくともこういう場でもそうだし、何か意見を求めるような会議にしたほうが良いと思う。
- ・(回答) レジュメだが、この度議会カフェになってるが、本来は議会報告会であって、議会のことを話す。例えば議案がこうでしたよという話である。だから、面白い面白くないは別として、まずは分かってもらおう。こういうことをやっていますよ、と報告している。  
 議会の定例会の報告ではなく、何かそちらでテーマを設定して、例えばこう興味を持ってもらうようなテーマを出して、皆さんから意見をお伺いできるような、意見を頂くのに適したような設定することを意見として頂いたので、広聴特別委員会の中で協議をしていきたい。
- ・(意見) 議会だよりの中で、例えば中学生が意見を言ってるが、この意見も結局、議会

を見てもらっても何の意味もなかったことになると思う。山陽小野田から人が出ていってることは分かったが、中学生が言ってることは都会がいいとか、結局出ていってる要因を言うだけで、ここに山陽小野田の魅力が伝わる何か気づきがあったとかを載せるのであれば、すごく有意義な内容になると思うのだが、正直、紙面自体が何を発信したいのかが読んでいても分からない。だから政治も興味がなくなるし、投票にも行かない。少なくとも紙面からは全く意図が分からないと思う。厚狭駅にさくら号が停まればいいとか、美祢線廃止しない、バスを増やすとか利用者がいないものをあれば良いという観点で行う提案とかは浮世離れしていて、現実的なものを載せていくべき。

- (回答) 紙面の件については、広報特別委員会で今頂いた意見も含めて議論をしていきたい。

# 議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ⑤

令和6年11月26日

山陽小野田市議会

議長 高松 秀樹 様

広聴特別委員会

委員長 森山 喜久

令和6年9月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

## 記

- 1 開催日時 令和6年11月26日（火） 19:00～20:30
- 2 開催場所 Aスクエア
- 3 参加人数 7人 小野田青年会議所
- 4 担当議員名 伊場 勇、奥 良秀、白井 健一郎、恒松 恵子、中岡 英二、  
福田 勝政、中島 好人、藤岡 修美、前田 浩司、松尾 数則、  
森山 喜久、吉永 美子
- 5 報告会次第
  - (1) 高松議長挨拶
  - (2) 9月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 藤岡 修美
    - ① 総務文教常任委員会
    - ② 民生福祉常任委員会
    - ③ 産業建設常任委員会
  - (3) 全体的な意見交換会
- 6 各テーブルの意見

### ＜総務文教常任委員会関係＞

\*令和5年度に実施した地域運営組織(RMO)形成に向けた財政的支援と支援員の配置

- ・(質問) 10万円の基準が何なのか。
- ・(回答) 地域運営組織が立ち上がったのが令和6年10月1日からで、それまでの準備をしていく、視察研修費や事務費などの経費である。
- ・(質問) 何でこの10月開始だったのか。
- ・(回答) 議会で聞いていたのは各地域で温度差、スピード感が異なるので、順次立上げをしていくという話だった。今年の夏前ぐらいから9月30日までに各地区で総会をして、10月1日から行動していこうと切り替わった。
- ・(意見) 新年度スタート時に足並み揃えた方が良かったと動画を見ていて思った。
- ・(質問) 10万円も、「とりあえず10万円ね」という手付にしか見えない。その資料が無かったし、動画の中でもその説明は無かった。
- ・(回答) 10万円を11地区に支払った確認のみで、10万円で十分足りたのか、どれくらい使用されたのか等の踏み込んだ質疑は出来ていなかった。
- ・(質問) RMOの目的は何ですか。
- ・(回答) どこの地域も高齢化していくが、ふるさと、社会福祉協議会、セーフティーネット等の現存組織の役員はいるけど重複している。それらを一つにすることで、若い人にも入ってもらい一緒になって、持続可能な地域にしていこうと言うことが目的の一つ。
- ・(質問) RMO、今日初めて聞いたんですが、どういう略称なんですか。
- ・(回答) Region Management Organizationで地域、運営、組織です。
- ・(質問) 地域運営組織を知らない。どういう組織なのか。
- ・(回答) 各小学校区の11地区でやるが、各地区にふるさとづくり協議会、地区社協、自治協、地域によっては別の団体もあるが、結構その団体の役員がかぶっている。どこでも一緒の人がいるような状況にあるから、それを全部まとめられないかという話でまとめて、それが持続可能な、その地域のまちづくりとか課題解決に繋げることが出来るんじゃないかという話を、市から地区に持ちかけ、令和5年から検討会をつくった。そして先月の10月1日から各小学校で一斉にスタートしたのが今の状況である。
- ・(質問) どの地区も色々な団体が減っていく中で、それを単純に一つにまとめてやっていく、役員のキャパがオーバーしていないか。
- ・(回答) 地域交流センターに支援員さんが1人増えていると思うが、その方は市の会計年度任用職員で、役員さんの負担が減るように配置されている。地域ごとに課題が違うから地域でやってくれ、という感じである。
- ・(意見) RMOの件で一番気になるのは、若い人たちが話し合いに入ってきているのかなと思う。実際自分は知らなかった。若い人達が知らないのが1番の問題で、今後どのように解決していくのかが見えてこない。
- ・(意見) 若い人が役員に就くのは難しいと思うので、地域ごとよりも、もっと大きい組

織をつかって取り組んでいく方が現実的ではないか。

#### \*その他

- ・(質問) きらら交流館はいつ頃完成なのか。
- ・(回答) 令和9年1月の予定。
- ・(意見) 温泉はできると聞いているが、サウナは必ず欲しい。
- ・(意見) 小野田中学校2年生の先生から相談があった。最近、ふるさと学習、外に出て学習するのがなかなかできなくなって、企業訪問したけどダメで、「やってくれないか」と一週間前に言われた。サンパークで小野田中学校2年生127名を受け持った。子どもたちの職場体験の受け入れ先が無くなっている。もっと市内の企業の受け入れがあってもよいのではないか。
- ・(意見) 理科大に薬学部が出来て初めての卒業生が県内、市内の就職がほぼ無かった。
- ・(意見) 山陽小野田市に空き地が無いので、新しく住宅を建てたいが土地が無い、結局若者が増えない、と言うことに直結していると感じる。山陽小野田市に住んでいる人は、アパートやマンションよりも一軒家を考える人が多いと感じる。農地転用がし難い、お年寄りがなかなか田圃を渡さないといった事情もある。造成地が出来たら直ぐに埋まる。空き地をどんどん活用してもらいたい。

#### 《民生福祉常任委員会関係》

##### \*市民病院の決算について

- ・(質問) 赤字がこんなに多いとは思っていなかった。もっと来院者数を増やしますと言っているが、今で限界とも言われている。どうしていいのかが全く見えてこない。このままの状態では本当に続けていけるのか。
- ・(回答) 民間と市民病院はちょっと違う。もうからない医療科でも市民のことを第一に考えて、赤字を覚悟でやっているところもある。患者数を増やすことがまず一つ。患者数を増やすためには、市民病院は常勤医が少ないので、常勤医を増やすことが病院の利益を生む方法だと思うのだが、その医者自体が、山口県、全国にしても不足している。
- ・(質問) 入院患者を増やそうにも、「よし、増やそう」と増やせるものではないし、お医者さんをお呼びとしても魅力が無いと来られない。難しいですね。
- ・(回答) 山大に頼っている。医師が増えないこともある。市民病院のトップが山口大学に行って医師の増員をお願いしてもなかなか増えない。常勤医師30人をめざしているが、現実には25人しかいない。今、産婦人科が結構多く、売上の構成比も高く、貢献している。
- ・(質問) 僕も薬局勤めてるので、調剤報酬改定で薬局も結構影響を受けていて、薬の値段も下げられるし、調剤技術料の料金がどんどん削られて、病院と同じ。動画を

見て、苦しいのがすごく分かった。やはり患者の数が減ってるんですか。

- ・(回答) 外来患者数は減ってるが、入院患者はコロナ確保病床の部屋をなくしたので、入院患者は増えている。
- ・(質問) 外来患者数が減った理由は。
- ・(回答) 理由が良く分からない、戻ってきていないと言われたが、理由までは述べられていない。質問はあったが、明確な回答がない。
- ・(質問) 医療機器の更新を例えば10年から15年までにすれば無理やり黒字は出せると思うが、どうか。
- ・(回答) 耐用年数は決まっているし、精度も日々変わっていくので、定期的には買い替えていく。
- ・(意見) 僕らが何で市民病院に行かないかという、待ち時間が長いからで、2時間程度はザラだ。経営の仕方は色々なやり方があると思うが、発熱とかに関しては、スピード感を持って対応してもらえそうな仕組みをつくってもらいたい。1時間でも短縮すればメリットになり、セールスポイントになる。

#### **\*その他**

- ・(要望) 空き家バンクを使っただけのリフォーム補助金は多分市民に対しての補助金だと思うが、業者が空き家を購入して、物件として販売できる方向性が欲しい。工務店は古いものを新しくするのが得意だ。

### **《産業常任委員会関係》**

#### **\*商店街等活性化事業と小規模土木事業を増額補正**

- ・(質問) この商店街等活性化事業がすごく気になって見ていたが、花火に100万増額するのかと思った。花火と商店街との結びつきがあまりよく分からなかった。その100万円を花火に使ったところで、この商店街が果たして本当に活性化されるのか。
- ・(回答) 商店街等の活性化事業で、今までも各種のまつり、商工会議所主催のイベントに補助金を出してきている。その増額の補正で商店街「等」である。

#### **\*住宅リフォーム資金助成事業の予算増額を求める決議**

- ・(質問) どれくらい増額されるのか。
- ・(回答) 分からない。これから市が検討する。
- ・(質問) 助成はどれくらいか。
- ・(回答) 10%で上限が7万円。大変人気があり、旧小野田が初めて取り組んだ。
- ・(質問) 塗装業だが、塗装だと遮熱がメインで絶対出てくる。遮熱の縛りがあると、提案しにくい面がある。どの業種もつというわけではないが、1業種としては自分

の中で良いと思っている提案をして、助成金を出されたら、提案した見積りを変えないといけない。値段は絶対上がるので、事務の手間を考えると、結局、こっちから下げますという話になる。

- ・(回答) 事業者にアンケートをとったことはない。今後の審査の参考にさせていただきたい。
- ・(意見) 新しいことにチャレンジするのはすごく良いことだと思うが、持続性が見えないものに関してはどうなのかなと感じている。未だに花火のことを誰も知らないことが不安だし、疑問。
- ・(意見) 増額してもらえるのはありがたいが、申請を早くして欲しい。警察に出したりするので時間がかかる。リフォーム工事はやはり緊急を要することから、お湯が出ない、電気がつかない等という緊急工事に対して、早めの判断をしてもらえたらすごくうれしい。

#### \*その他

- ・(意見) 水洗便所の融資あっせんがあるが、供用開始後3年以内という条件がある。うちの自治会では140件中137件は公共下水道に通したが、3件が浄化槽である。それが原因で大体年間20万円分の費用がかかって予算を圧迫している。減らす努力をこの5年ぐらいつと動いてきたが、最後に残ってる3件はお金がない。水洗トイレの融資の3年を、皆さんの力で撤廃していただけないかどうか。自治会は柿の木坂で、3軒がくみとりのままであるが3年経過しているので期限が切れている。

#### その他

- ・(質問) 正直この議会カフェというのが何を意味してるのかが分からない。昨年、参加させてもらったが、配られた資料の中で意見を言わしてもらったら、「確認します」と言われたままだった。その場で回答を頂くことができなかった。ホームページで回答されても全然良い。
- ・(回答) その場で答えられない場合、後日確認し、次の議会カフェで報告させていただく。市のホームページ掲載とまではしていなかったなので、委員会で検討させていただきたい。
- ・(意見) 持ち回りで行われる県事業を、小野田青年会議所が主管して行ったが、県事業であるならば減免がきかないとされた。人数も500人規模で、僕たちも活性化しようとして、山陽小野田に人を呼ぼうとしてもこれでは性が無い。宇部や長門や下関、各青年会議所が主管する際に減免出来ていると聞くと、どうなのかな、と思う。
- ・(意見) 市民館で行事を開催したいので、もっと早くから話が出ているが、「申し込みは来館のうえで1カ月前から」と言われたので、丁度1カ月前に行くと「青年部が

入っている」と窓口で言われた。商工会議所青年部は優先されるこの度の対応も如何なものか。

- ・(質問) 今回この3団体と議会カフェを始めた切っ掛けと、今後どうしていききたいのか。
- ・(回答) 今まででは定例会後に議会報告会が4か所で、4つの会場を回って話を聞いていた。今回今まで通りのものは2会場だけで、J Cと山陽商工会議所青年部、小野田商工会議所青年部の三つが候補として挙げた。声かけをしやすかった点はあるだろうが、三つを決めた理由は特になかったと思う。今後どうするのか、次はどのような選定をするのか。そういったことは委員会の方で協議していききたい。  
でも普通の議会カフェは年配の人が多く、それでどうにかなるのかなど。も感じていた。一般市民以外の団体も色々な意見を持っているのではないかということで、今回この3団体で開催させていただいた。引き続き、こういった意見交換をしていきたい。
- ・(意見) よい取り組みだと思ふし、是非続けてほしい。テーマを絞っていただければ、こちらも勉強して臨める。今回、漠然としているなというのが正直な意見である。テーマの例でいえば僕はやはり子供たちの人材育成とかそういうのが1番で、外せない。
- ・(質問) 政務活動費が山口県内でも少ないと聞いているが、それによって何か不具合等はないのか
- ・(回答) この度4月から増額されている。少ないなりに対応してきた。